

断熱窓への改修促進等による住宅の省エネ・省CO₂加速化支援事業 (経済産業省・国土交通省連携事業)



デコ活
くらしの中のエコロがけ



【令和5年度補正予算(案) 135,000百万円】

くらし関連分野のGXを加速させるため、断熱窓への改修による即効性の高いリフォームを推進します。

1. 事業目的

- ・既存住宅の早期の省エネ化により、エネルギー費用負担の軽減、健康で快適なくらしの実現、2030年度の家庭部門からのCO₂排出量約7割削減(2013年度比)に貢献し、くらし関連分野のGXを加速させる。
- ・先進的な断熱窓の導入加速により、価格低減による産業競争力強化・経済成長と温室効果ガスの排出削減を共に実現。
- ・2050年ストック平均でZEH基準の水準の省エネルギー性能の確保に貢献。

2. 事業内容

①既存住宅における断熱窓への改修を促進し、くらし関連分野のGXを加速させるため、以下の補助を行う。

既存住宅における断熱窓への改修

補助額：工事内容に応じて定額(補助率1/2相当等)

対象：窓(ガラス・サッシ)の断熱改修工事

(熱貫流率(Uw値)1.9以下等、建材トッパーランナー制度2030年目標水準値を超えるもの等、一定の基準を満たすもの)

②本補助事業の運営に必要な、データ管理・分析等の支援を行う。

3. 事業スキーム

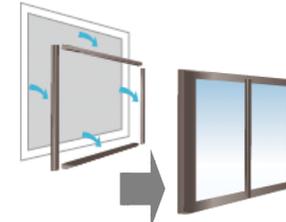
- | | |
|------------|----------------------|
| ■ 事業形態 | ① 間接補助事業 ② 委託事業 |
| ■ 補助対象・委託先 | ① 住宅の所有者等 ② 民間事業者・団体 |
| ■ 実施期間 | 令和5年度 |

4. 補助事業対象の例

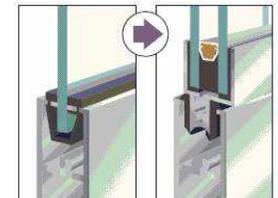
内窓設置



外窓交換



ガラス交換



【現状】

日本の住宅の7割は
単板ガラス窓のみ

すべての窓が
二重サッシ又は
複層ガラス窓
(15%)

二重サッシ又は
複層ガラス窓
なし (68%)

一部の窓が
二重サッシ又は
複層ガラス窓
(14%)

住宅の熱の出
入りの7割は
開口部から

開口部
73%
58%

屋根 5% 11%

床 7% 3%

出典：H30住宅・土地統計調査

参照：(一社)日本建材・住宅設備産業協会省エネルギー-建材普及促進センター「省エネ建材で、快適な家、健康な家」